

# すこやか 9月号

SANDA CITY HOSPITAL PRESS SUKOYAKA



## ダヴィンチによる胃がん手術の導入について



外科・消化器外科 医長

大坪 出

日本外科学会専門医  
日本消化器外科学会専門医  
消化器がん外科治療認定医  
日本がん治療認定医機構認定医  
日本内視鏡外科学会技術認定医  
Certificate of da Vinci console surgeon

### ダヴィンチについて

平成30年4月の診療報酬改定により、手術支援ロボットダヴィンチ（写真）による胃がん手術が保険適用となりました。当院では、平成29年から泌尿器科による前立腺全摘術でダヴィンチの最上機種Xiによる手術を導入しています。消化器外科領域でも、従来行ってきた腹腔鏡（図）による胃切除の経験を活かし、より精緻な手術操作が可能となるダヴィンチによる胃がん手術を導入していきます。

### ダヴィンチによる胃がん手術の特徴

現在、ステージIと見込まれる比較的早期の胃がん

に対しては、腹腔鏡による手術が広く行われるようになりました。開腹手術に比べて傷が小さく、痛みや出血が少ないというメリットがあることに加え、肉眼で行う開腹手術にくらべて5倍程度の拡大視野の下で、繊細な手術操作・リンパ節切除を行うことが可能です。更に、3D腹腔鏡の出現により、臓器の奥行きを確認しながら手術操作を行うことが可能になっています。一方、ポート（切開部に挿入する筒状の器具）による動作制限など、手術手技の困難さがあります。

ダヴィンチ手術では前述の腹腔鏡による手術のメリットはそのままに、更に多関節機能・手ブレ防止機能が加わることによって、手術精度の向上が期待されます。ロボットアームの多関節機能によって、外科医は患者さんのお腹の中で、自分の手のような感覚でアームを動かすことができ、ポートによる動作制限が改善されました。また、腹腔鏡カメラとロボットアーム共に手ブレ防止機能がついたことにより、3D腹腔鏡を上回る視野の向上と安定が得られ、従来の腹腔鏡による手術では不可能と思われるような精緻な手術操作が可能になっています。



写真 手術室に設置されたダヴィンチXi

### より適切な胃がん治療の提供

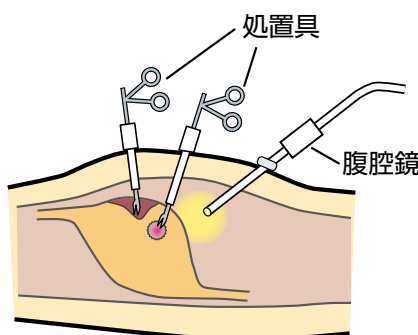


図 腹腔鏡模式図

当科は現時点では、従来の腹腔鏡による手術の対象である、比較的早期と判断される胃がん患者さんをダヴィンチ手術の対象と考えています。今後も、ダヴィンチというアイテムを活用しつつ、今まで以上に適切な胃がん治療を提供できるように心がけて参ります。

## 部署紹介

## 外来診察室、検査・治療室

当院では、患者さんができるだけ短い動線で診察を受けられるよう、各診療科の外来や各種検査・治療室を2階のワンフロアを中心に配置しています（放射線治療室とリハビリテーション室は1階に、人工透析室は4階にあります）。毎日多くの患者さんが来られるこの部門を、**外来Ⅰ・Ⅱ**の看護師がサポートしています。

### 外来Ⅰ 課長 松井 玲子

私たちは、救急外来、内視鏡室、血管造影室、放射線治療室、人工透析室の、主に治療や検査を行う部門を担当しています。24時間体制で患者さんの受け入れを行い、急性心筋梗塞に対する緊急カテーテルや消化管出血に対する緊急内視鏡治療などの対応を行っています。質の高い、信頼される看護を提供できるよう、日々スタッフで力を合わせて知識、技術の向上に努めています。

**<救急外来>** 地域の医療機関（診療所・病院）や消防と連携を図りながら、手術・検査や緊急入院などを必要とする比較的症状の重い患者さんを中心に救急医療を行っています。

**<内視鏡室>** 胃、十二指腸、大腸を中心とした消化管の検査処置や、特殊光や拡大内視鏡検査、狭窄に対するステント留置術など、種々の専門的内視鏡治療を行っています。

**<血管造影室>** 西日本初となる最新の血管造影装置を導入し、急性心筋梗塞や狭心症などの冠動脈疾患に対して、経皮的冠動脈インターベンション（経皮的冠動脈形成術・ステント留置術）、下肢の閉塞性動脈硬化症や重症下肢虚血に対して、カテーテルを用いた血管内治療を行っています。またペースメーカーの植込手術、脳の血管撮影などを行っています。

**<放射線治療室>** 各種の悪性腫瘍に対する根治照射（治癒を目的とした治療）だけではなく、疼痛をはじめとする悪性腫瘍による苦痛を緩和する治療も積極的に施行しています。

**<人工透析室>** 新たに透析を導入する方や、合併症により重症な方、ならびに入院治療の必要な方へ治療を行っています。



外来Ⅰスタッフ



内視鏡室スタッフ



血管造影室スタッフ



人工透析室スタッフ

## 外来Ⅱ 課長 石田 弘美

私たちは各診療科の外来診察、中央処置、外来化学療法、心臓リハビリテーションに加え、看護師が専門性を発揮してケアや相談・指導を行うさまざまな専門外来を担当しています。地域の皆さんが安心して診察や治療が受けられるように、待ち時間の削減にも取り組み、円滑な外来診療を目指しています。今回は次の部署を紹介します。

**<外来化学療法室>** がん治療は、「手術療法・放射線療法・化学療法・免疫療法」の4つの柱で行います。外来化学療法室では、乳がん、大腸がん、胃がん、すい臓がん、前立腺がんなど幅広い部位の治療を行っています。がん化学療法看護認定看護師が所属しており、患者さんご家族が安心・安楽に治療を続けられるよう、副作用の説明と対策についてお話したり、ご自身で納得して治療を受けられるようなサポートを行ったりと、スタッフ一丸となって取り組んでいます。

**<心臓リハビリテーション>** 平成26年10月から開始した心臓リハビリテーションは、心臓病などの患者さんに対して、再発や悪化を予防し、元気に過ごすために運動療法や生活習慣指導を行うプログラムです。現在、当院では3名の心臓リハビリテーション指導士が活動しており、質の高い心臓リハビリテーションを行えるようサポートしています。

**<糖尿病患者指導（透析予防）>** 現在、人工透析を始める原因の第1位は糖尿病の合併症である糖尿病性腎症です。糖尿病性腎症は自覚症状がないまま進行し、病状が進むと「だるい・疲れる・足がむくむ」などの症状が出現し、透析療法が避けられなくなります。この度透析導入の減少、導入時期遅延を目的として、糖尿病性腎症2期以上で検査値や薬剤などの条件を満たすと医師が診断した患者さんを対象に医師、管理栄養士、糖尿病看護認定看護師が連携して指導を行う糖尿病透析予防指導を開始しました。



外来Ⅱスタッフ



外来化学療法室スタッフ



心臓リハビリテーションスタッフ



糖尿病患者指導スタッフ



## さんだ生涯学習カレッジに 当院医師が出講しました

平成30年6月と7月、三田市が主催する「さんだ生涯学習カレッジ」の「大学院 健康福祉コース」で、当院の医師が講師をつとめました。「学生」の平均年齢は71歳で、どちらの講義も100人近くが受講しました。

6月は、形成外科の皐月玲子医長による「形成外科とその疾患について」です。「形成外科」の成立、特徴、意義の話から始まり、最近ではマスコミで取り上げられることの多い「眼瞼下垂症」やレーザー治療について画像資料をもちいてわかりやすく話しました。講義後には質問が相次ぎ、またアンケートでは「(症状が)部分的に該当するので真剣に聞いた」、「なじみの薄かった形成外科の内容がよくわかった」などの感想が寄せられました。

7月は、整形外科の西本浩司医長による「中高年の膝の痛み～変形性膝関節症とその治療法を知る～」です。変形性膝関節症の症状と保存的治療・手術加療・予防法、人工関節の進歩などについて、画像・動画資料を活用して具体的に話しました。6月同様に講義後の質問は大変活発で、アンケートでは「この症状で悩んでいるのでとても良かった」、「年齢的にタイムリーな話題であった」などの感想がありました。

2回の講義の様子やアンケートの記述から感じられたのは、講義が受講者の期待に合う有意義なものであったことは勿論、現場で診療にあたる医師が直接語る医療情報に対する信頼感でした。今後も適宜、市民向け講座などでのお話を通して、病気予防や治療への理解が深まる情報を発信していきたいと考えています。



6月の講座①



6月の講座②



7月の講座①

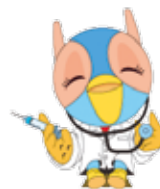


7月の講座②



## 敷地内全面禁煙の お知らせ

改正健康増進法の施行に先立ちまして、当院では、平成30年10月1日をもって、「敷地内全面禁煙」といたしますので、ご理解・ご協力をお願いします。



No smoking



禁煙



## 医師からのメッセージ

日々の診療に励む医師から、「すこやか」読者の皆さんへのメッセージをお届けします。



こいずみ さとし  
**小泉 郷士**

- 診療科 形成外科
- 専門分野 形成外科全般

### message

着任してから6年が経過しました。この間に形成外科の診療内容が皆さんに徐々に浸透してきていることを実感しています。

形成外科の手術は少し分かりにくいものが多いので、なるべくわかりやすく説明できるように心がけています。



こんどう けんすけ  
**近藤 健介**

- 診療科 循環器内科
- 専門分野 循環器全般、虚血性心疾患
- 資格 日本内科学会認定内科医、日本循環器学会認定循環器専門医、日本内科学会総合内科専門医

### message

循環器疾患は生涯を通じた加療が必要ですので、心筋梗塞に対するカテーテル治療のような急性期治療だけでなく再発予防のための慢性期治療においても、患者さんに信頼してもらえる医師を目指しきめ細やかな診療を心がけています。よろしくお祈いします。

## 漢方薬について

薬剤科（診療技術部次長）

**櫻井 美由紀**

6世紀ごろに中国から日本に伝わった医学が、その後日本の風土や気候などに合わせて改良された「日本独自の伝統医学」を「漢方」といいます。江戸時代に、オランダから入ってきた医学の「蘭方」と区別するために、「漢方」と呼ばれるようになりました。

漢方薬は植物、動物、鉱物などの生薬（しょうやく）を、漢方の理論に基づいて組み合わせで作られ、現代の医療の中でも使われています。漢方薬は天然物から作られるので副作用が無い、と思われがちですが、薬なので当然ながら副作用を起こすこともあります。生薬の一つであるトリカブトは毒草としても有名ですし、山でウルシにかぶれた経験がある方は、天然物だからといって必ずしも安全だとは言えないと実感されたことでしょうか。また、海外では薬を規制する法律が日本と違うため、海外旅行で買ってきた漢方薬に、日本では医師の処方が必要な劇薬が含まれていた例もあります。漢方薬・生薬だからと安心せず、医師や薬剤師に相談して使いましょう。



# 近隣医療機関のご紹介

市民病院は地域医療連携を推進します。かかりつけ医を持ちましょう！



## 山本医院 山本 元 院長

当院は今年、満20歳になりました。兵庫中央病院で外科医として17年間種々の手術をさせていただきましたが、もっと皆様の身近な“かかりつけ医”になりたくて、平成10年5月当地にて開院しました。

外科、呼吸器科、リハビリテーション科を標榜しておりますが、県立こども病院で小児疾患を担当した経験を活かし、開院当初は多数の小児を診療させていただいたことが少子化の時代になった今、懐かしく思い出されます。

現在は、三田市民病院とも密に連携し、兵庫中央病院の外科病棟で立ち上げたターミナルケアの経験から、“在宅療養支援診療所”の認定を受け“在宅医療”にも積極的に取り組んでいるところです。気になることは何でもご相談に乗ります。まずは、いつでもお声かけください。

〒669-1323 三田市あかしあ台5-32-1 ウッディ殿ビル2階

電話：079-560-2800

診察科目：外科、呼吸器科、リハビリテーション科

休診日：日曜・祝日、火・水・木・土曜日の午後

診療時間 午前：9:00～12:00 午後：4:00～7:00

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	○	○	○
午後	○	×	×	×	○	×



## すぎたファミリークリニック 杉田 亮 院長

当院は平成29年11月に前院長の羽場敏文先生のはばこどもクリニックを引き継ぐ形で、すぎたファミリークリニックとして開院いたしました。小児科専門医として主に小児科診療を行います。内科や救急、心臓外科での成人の診療経験も活かして、年齢に関係なく対応させていただきます。

目の前の患者さんが自分や自分の家族だったらどうするか?ということを常に意識し、地域の皆様が気軽に相談くださるような雰囲気づくりを心掛けて頑張っていきますのでよろしくお願いいたします。

〒669-1324 三田市ゆりのき台2-25-1

電話：079-562-2700 診察科目：小児科、内科

休診日：日曜・祝日、水曜・土曜日の午後

HP「三田市 すぎたファミリークリニック」で検索してください

診療時間 午前：9:00～12:00 午後：4:00～7:00

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	○	○	○
午後	○	○	×	○	○	×



### 編集後記

豪雨と猛暑の影響はいかがでしたか。夏もようやく峠を越え、過ごしやすい季節になります。スポーツの秋、味覚の秋、読書の秋・・・みなさんは、どのような秋を楽しめますか。健やかで実りある季節になりますように願っております。

すこやか(第205号)  
平成30年9月発行

【編集・発行】  
三田市民病院  
学術広報推進委員会

 **三田市民病院**

〒669-1321 三田市けやき台3丁目1番地1  
TEL.079-565-8000 (代表)  
<http://www.hospital.sanda.hyogo.jp/>